

日本消化器外科学会 第8回若手育成セミナー JESUS 2023 開催報告

広報委員会・JESUS 実行委員会 委員長：五井 孝憲

1. はじめに

若手育成セミナー JESUS は、若手消化器外科医の育成と入会者の増加を目的として 2015 年に始まったセミナーであり、例年全国から約 120 名の研修医が参加している。コロナ感染症の流行により 2020 年は不開催、2021 年は完全 Web 開催、2022 年は現地開催に復活し、本年も 7 月 14 日に現地開催（函館アリーナ）でおこなわれました（図 1）。

本セミナーの特色：

①外科基本手技がじっくり学べるプログラム

ドライボックス、腸管モデルならびに手術器械を用いて正しい技術を指導医からじっくり学ぶ内容のハンズオンセミナーとなっている。

②将来の進路を深く語り合えるセミナー

消化器外科学のエキスパートの講師陣、また同じ目的意識を持った同世代とも語りあえるセミナーとなっている。

③日本を代表する教育熱心な講師陣からの直接指導

日本を代表する教育熱心なエキスパート講師陣が集まり、対面にて直接指導を受けることができる。

図 1.

JESUS 2023 開会形式

総会とのジョイント開催
半日開催
懇親会は不開催

JESUS 2023は
第78回総会との
ジョイント開催

日本消化器外科学会 JESUS 2023
若手育成セミナー
Japanese skill education for young gastroenterological Surgeons 2023

2023
7.14 (金) 14:30~18:30
函館アリーナ サブアリーナ (第4会場)

定員 **75名** 5,000円
2023年5月中申し込み Webサイトにて開催開始
消化器外科 JESUS

実行委員長：五井 孝憲 副委員長：佐藤 隆夫 幹事：佐藤 隆夫 幹事：佐藤 隆夫 幹事：佐藤 隆夫
主催：日本消化器外科学会 JESUS実行委員会
お問い合わせ：一般社団法人 日本消化器外科学会 JESUS運営事務局 Email: jesus2023@jgso.or.jp Tel: 03-5427-5500

2. JESUS 2023 開催当日（2023年7月14日 金曜日）概況報告

新型コロナウイルス感染症につきまして、2023年5月8日より「2類相当」から「5類」に移行され、オンラインがメインだった学会や研究会が対面に戻り始めていますが、JESUS 2023 企画段階では、様々な面で不確定なことが多かったため、①総会最終日の半日開催（懇親会不開催）、②定員75名、③第78回日本消化器外科学会総会（袴田会長）とのジョイントにて開催しました。当日は、選出された75名の参加者のうち4名が不参加となり、全71名の現地参加者を迎え、調憲理事長、総会 袴田 健一会長のご挨拶および実行委員長五井孝憲の開会宣言にて JESUS 2023 の開会としました（図2）。

図2.



(I) Under 40 委員会から研修医へのメッセージ

Under 40 委員会とのコラボ企画では、キャリアセミナーと題して、事前に参加者等から集めた質問を中心に、Under 40 委員会メンバーが回答するセミナーを開催した。質問内容は、消化器外科医として楽しいことは？、子育てと仕事の両立については？、休日については？など多岐にわたる質問があり、Under 40 委員会メンバーが回答した（図3）。

図 3.

JESUS & U-40 キャリアセミナー



(II) ハンズオンセミナー等について

函館アリーナにて、腸管吻合、トレーニングボックス、手術器械体験のハンズオンに加えて、ベテラン消化器外科医と参加者の対談を行った。

腸管吻合はブタの腸管を用いて Albert-Lembert 吻合を行い、最後に水を注入しリークテストをおこなった (図 4)。トレーニングボックスは、ドライボックスを用いて体内結紮のトレーニングをおこなった (図 5)。手術器械体験では実際の手術時にはよく見かけるが、初期臨床研修医が触れることの少ない器械を実際に手に取り、使い方を習得していた (図 6)。

ベテラン消化器外科医と参加者の対談では、外科医を目指した理由、手術が上手くなる方法、現在までの修練について、働き方改革によって変わったこと、など様々な踏み込んだ話し合いがおこなわれた (図 7)。

全参加者は非常に熱心に取り組み、またインストラクターも的確かつ情熱的な素晴らしい指導をおこなっていることが印象的であった。

図 4.

ハンズオンセミナー

腸管吻合



図 5.

ハンズオンセミナー

トレーニングボックス



図 6.

ハンズオンセミナー

手術器械体験



図 7

ハンズオンセミナー

ベテラン消化器外科医と参加者の対談



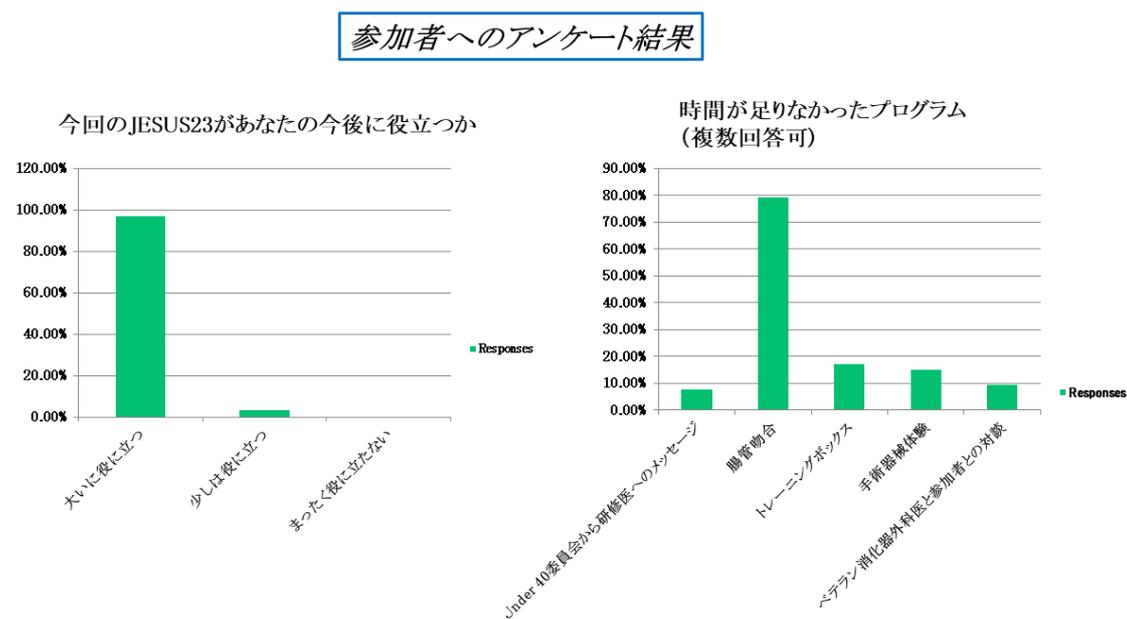
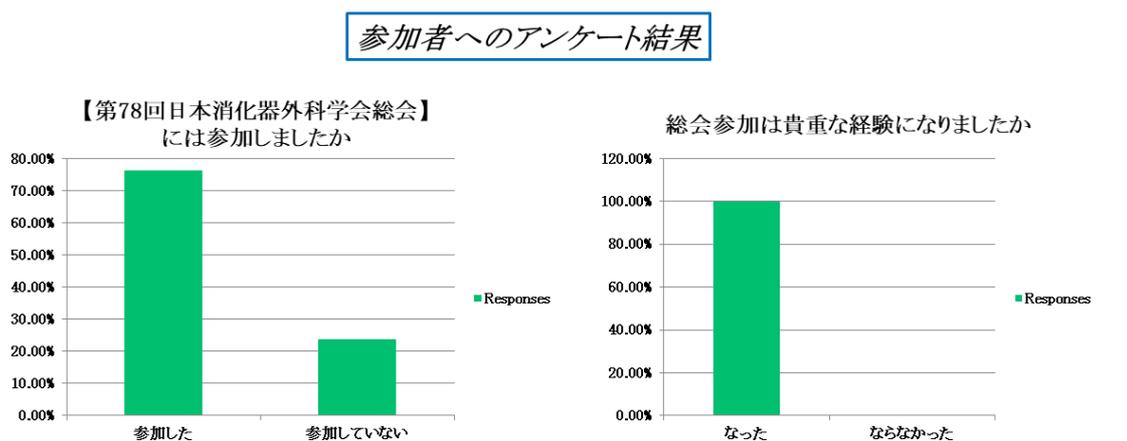
3. JESUS 2023 アンケート結果

JESUS 2023 終了後にアンケートをおこない、参加者 63 名より回答を得ました。

アンケートでは、総会への参加者は 76.2%で、総会に参加した全員が“貴重な経験を得ることができた”と回答されました。JESUS 2023 に参加したことで消化器外科を専攻する気持ちになりましたか？の設問には、「気持ちになった」と回答した割合は 87.3%であった。

また JESUS 2023 があなたの今後に役立つか？の設問にも同様に 96.8%の参加者が「役立つ」と回答した。また 7月開催についても参加者の 98.4%が「適当」と回答した。一方で、実技時間について「ちょうどよい」76.4%であったが、「もう少し長い方がよい」が 27%、特に“腸管吻合”については、約 80%の参加者が時間が足りなかったと回答があり、検討する必要があると考えられた（図 8）。

図 8.



4. おわりに

昨年より現地開催が復活となり、JESUS 2023 は参加者数を 75 名とやや拡大し、日本消化器外科学会総会（袴田会長）とのジョイントで開催となりました。昨年の参加者のアンケート結果を解析して、新しい内容（手術機器体験、ベテラン消化器外科医と参加者の対談）も加え、本セミナーの目的である”若手外科医の育成および日本消化器外科学会入会者の増加”に向けたこと取り組みが達成でき、また参加者アンケートからも満足度の高いセミナーであった。JESUS 2023 に参加いただいた全国の初期研修医にとって素晴らしい体験になり、将来の進む道に大きな影響があったことを願う次第です。

最後に JESUS 2023 の開催が無事に終了できましたのも、北川前理事長、調理事長、袴田会長を始め、会場までお越し頂いた役員の先生方、準備に携わって頂いた日本消化器外科学会事務局の皆様および第 78 回総会事務局の皆様、インストラクターをお務め頂きました広報委員、JESUS 実行委員、Under40 委員の各先生方、共催いただきましたジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社様のお力添えのおかげであります。この場をお借りしまして御礼ならびに感謝申し上げます。

図 9.

